

ライズ(ADVANCE BLAST STYLE) モデリスタ バージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番:MSD41-B1001-**
D2531-61310-**

設定型式: A2##A-GB## 設定:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 重要** ■ 取付作業は、補機バッテリーのマイナス端子を外してから行って下さい。また、マイナス端子がプラス端子と接触しないようにしてください。
作業終了後は、各システムの設定・確認を行って下さい。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施して下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 本製品の取り付けは、2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- フロントスポイラーを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウェスで拭き取って下さい。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマー N200を本品に添付)
- 重要** ■ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- 重要** ■ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- 重要** ■ 両面テープの圧着を十分に行って下さい。49N (5kgf) 以上

取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両に確実に貼り付けられているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低24時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とフロントスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

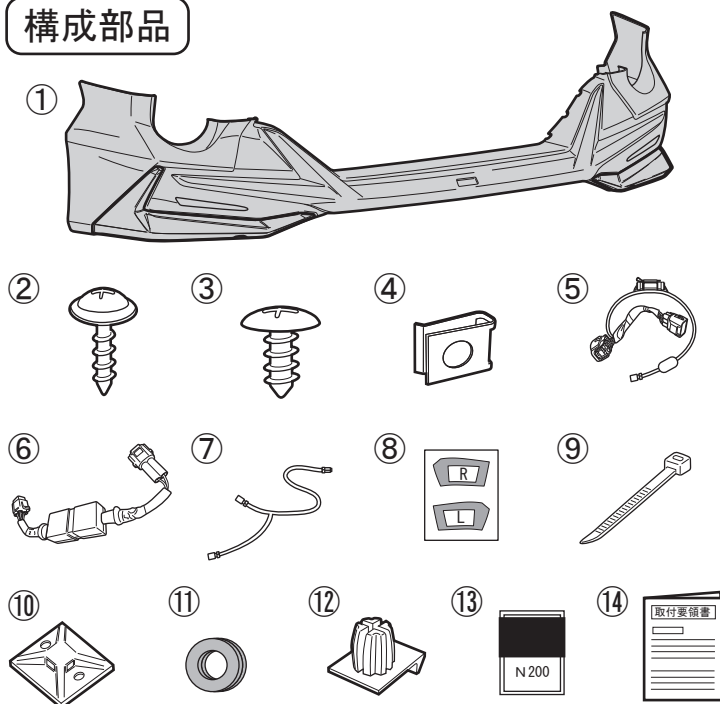


アドバイス・・・この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

ライズ (ADVANCE BLAST STYLE) モデルスタ バージョン

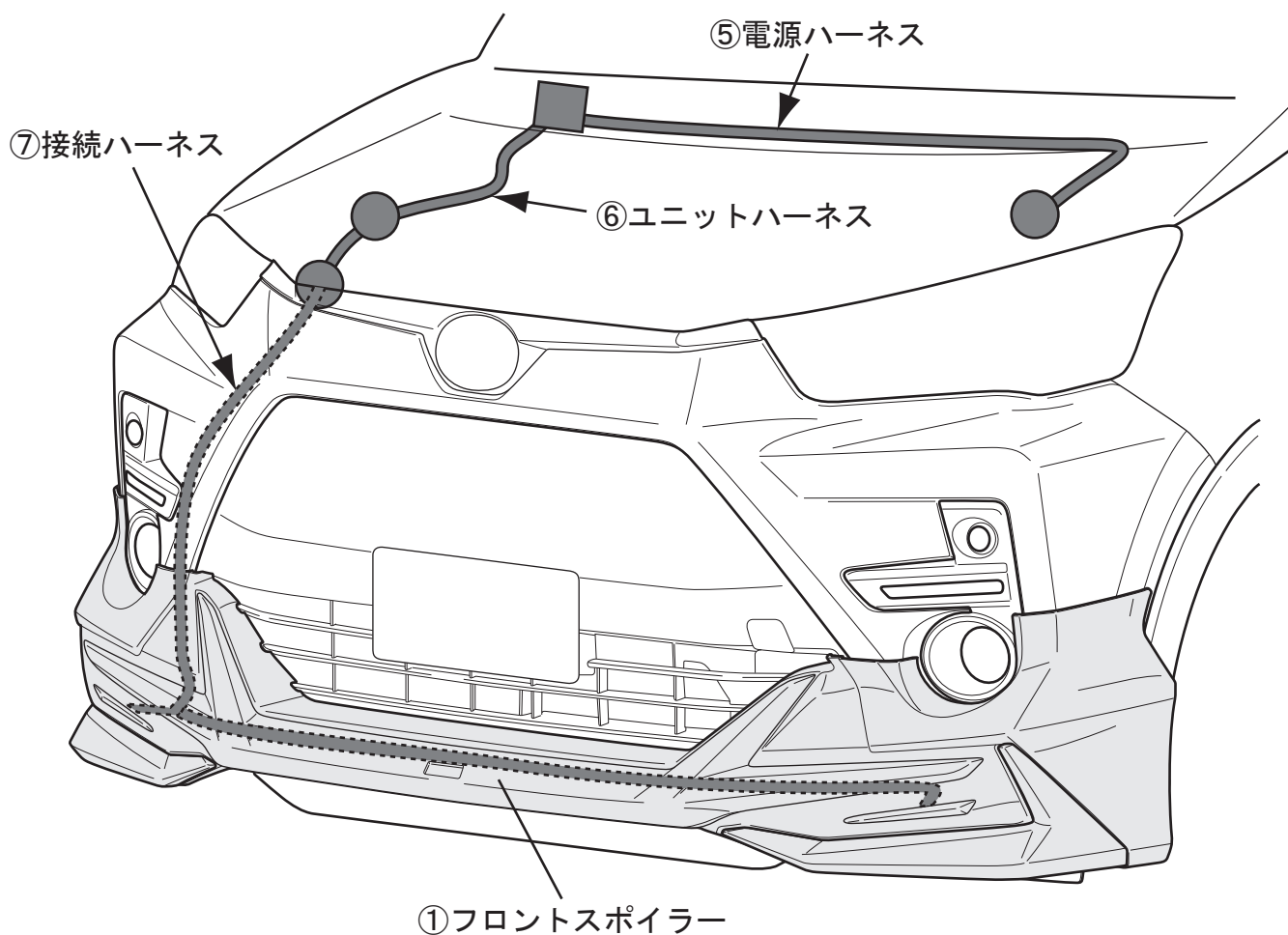
フロントスポイラー 品番
MSD41-B1001-**
D2531-61310-**

構成部品



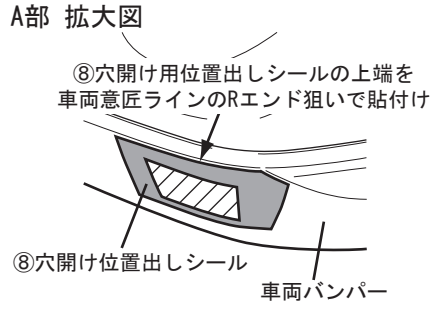
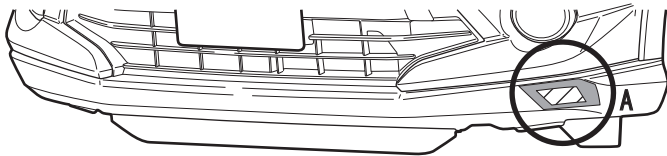
No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	タッピングスクリュー (M4×16)	4
③	タッピングスクリュー (M6×12)	2
④	スピードナット	4
⑤	電源ハーネス	1
⑥	ユニットハーネス	1
⑦	接続ハーネス	1
⑧	穴開け用位置出しシール	1シート
⑨	結束バンド	23
⑩	マウントベース (1ヶ予備)	11
⑪	バンポンワッシャー	2
⑫	スクリューグロメット	2
⑬	PACプライマー N200	1
⑭	取付要領書	1

取付概要



取 付 手 順

I. 車両バンパーの加工-1



<図 1>

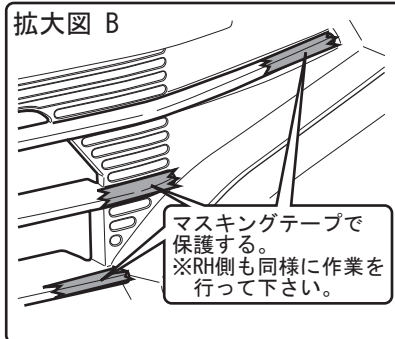
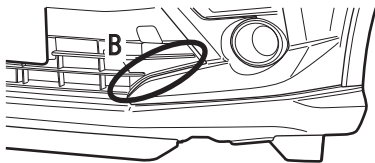
1. 左図の要領で⑧穴開け用位置出しシールを、車両バンパーへ貼り付ける。
(図 1 A部 拡大図 参照)
2. ⑧穴開け用位置出しシールの斜線部を超音波カッター等を使用して穴あけをする。
(図 1 A部 拡大図 参照)
※左図は、LH側を図示しております。
RH側も同様に作業を行って下さい。

⚠ 注意

- ・カッターを使用する際は、十分注意して作業を行って下さい。
取扱い方法を誤ると重大な傷害に繋がる恐れがあります。

3. ⑧穴開け用位置出しシールを剥がす。

II. 仮当て



<図 2>

1. 仮当て時の傷付き防止の為、車両リップ形状をマスクングテープで保護する。
(図 2 B部 拡大図参照)

2. 左図の要領で①フロントスポイラー（以下、スポイラーと省略）を仮当てし、①スポイラー上端をゴムテープ等で固定する。
(図 3 参照)

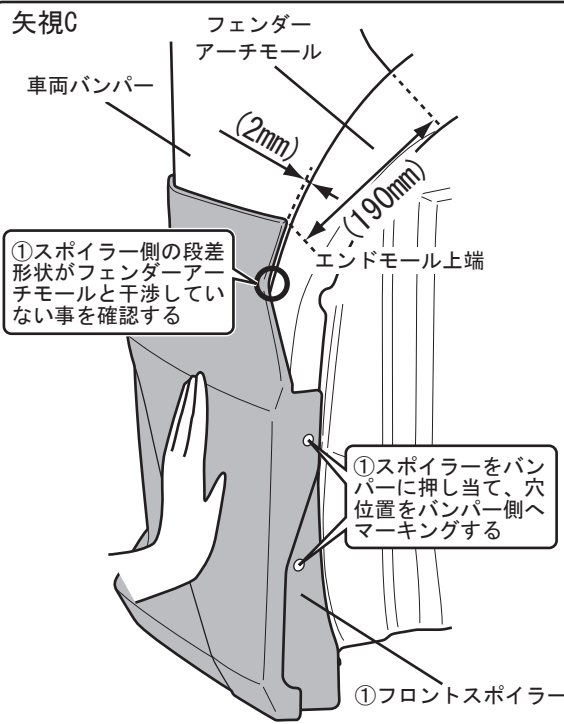
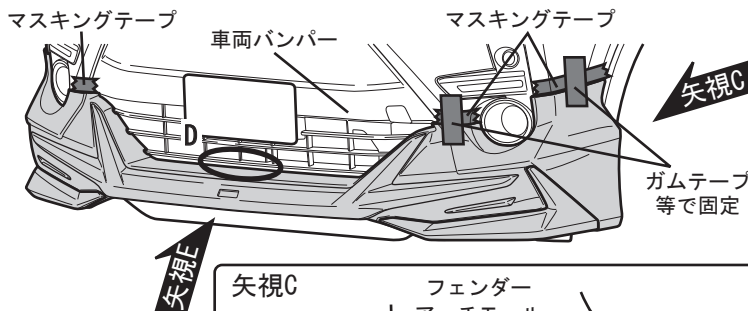
※その際、前項. 車両バンパーの加工-1にて穴あけをした部分と、①スポイラー側のLEDが干渉していない事を確認して下さい。

3. エンドモール上端に合わせてマスクングテープを貼り付ける。(図 3 参照)
4. ①スポイラーフェンダー部のビス穴2ヶ所にマーキングする。(図 3 矢視C 参照)



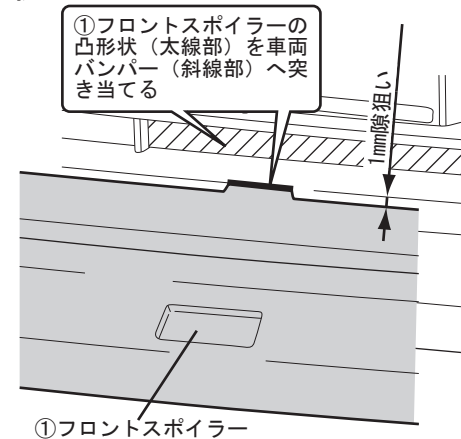
アドバイス

- ・マーキングの際は、穴の中心を狙い、ケガキ針又は、画鋸を用いて行なって下さい。

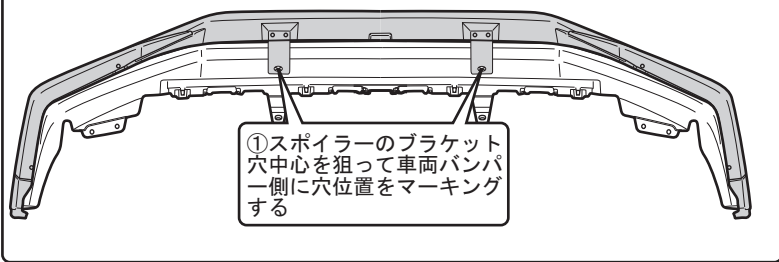


<図 3>

拡大図 D



矢視 E



5. ①スポイラー下面のブラケット穴2ヶ所にマーキングする。(図3 矢視E 参照)

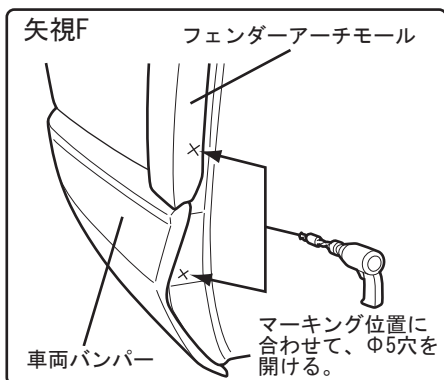
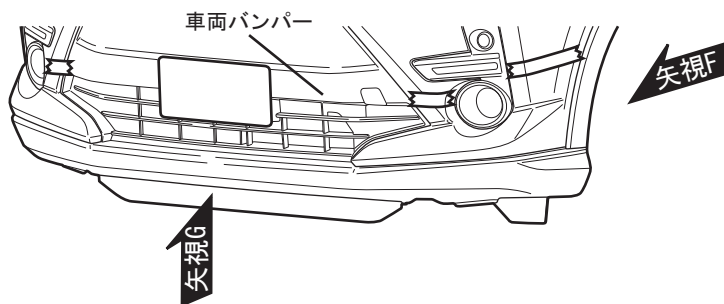
アドバイス

- ・マーキングの際は、穴の中心を狙い、ケガキ針又は、画鋸を用いて行なって下さい。

6. ①スポイラーを車両から取り外す。

<図3>

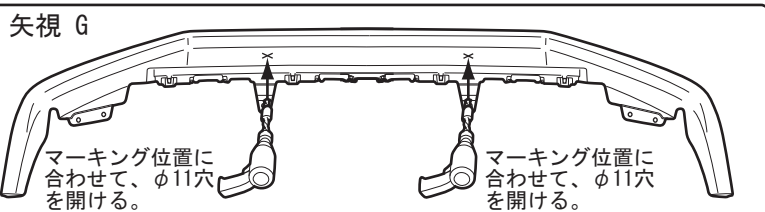
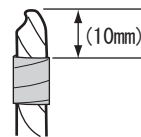
Ⅲ.車両バンパーの加工-2



1. ドリルを使用して、フロントフェンダー部2ヶ所と車両バンパー下面2ヶ所のマーキング位置に穴開けをする。(図4 矢視F・矢視G 参照)
※穴開けサイズ フェンダー部：φ5
車両バンパー下面：φ11

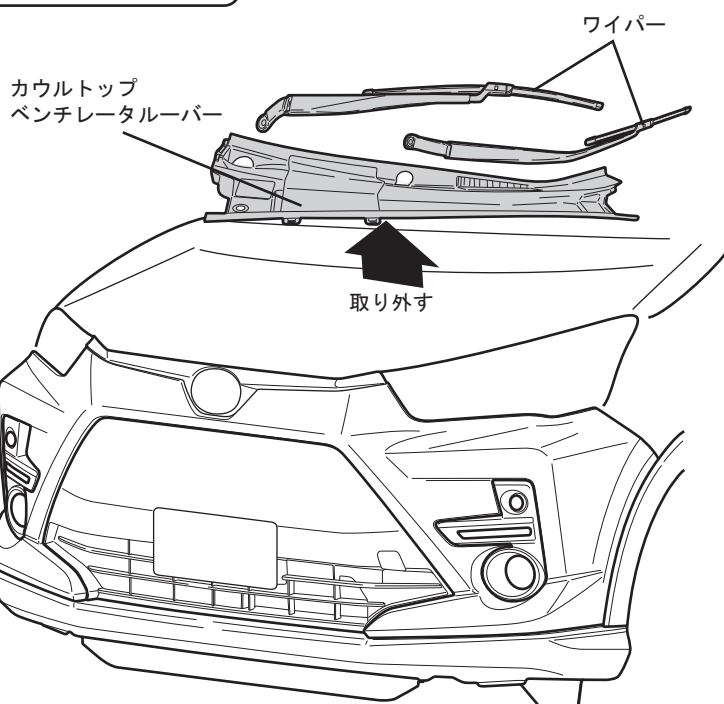
注意

突き抜け防止のため、ドリル先端から10mm程度のところにマスキングテープ又はガムテープを巻いて下さい。



<図4>

Ⅳ.ハーネスの配策



1. 補機バッテリーの(-)端子を外す。

アドバイス

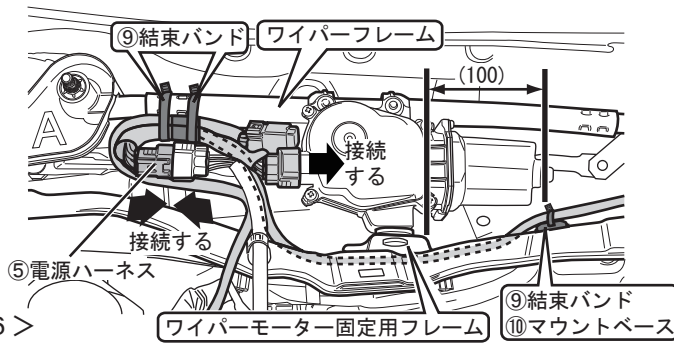
- ・(-)端子が(+)端子に接触しない様にして下さい。

2. ワイパー・カウルトップベンチレーターバーを取り外す。(図5参照)

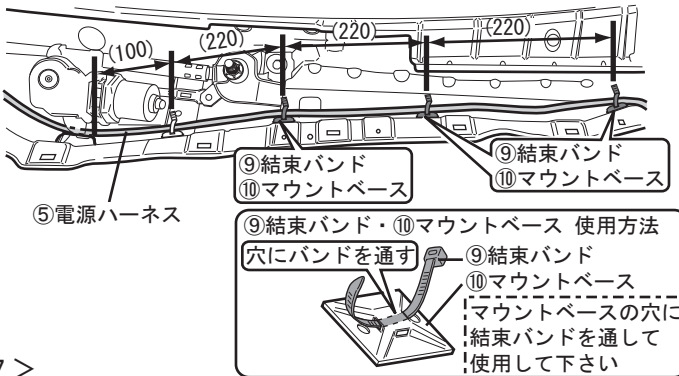
アドバイス

- ・車両部品を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。
- ・傷付き防止の為、フロントガラス下面をマスキングテープ等で保護してから作業を行って下さい。

<図5>



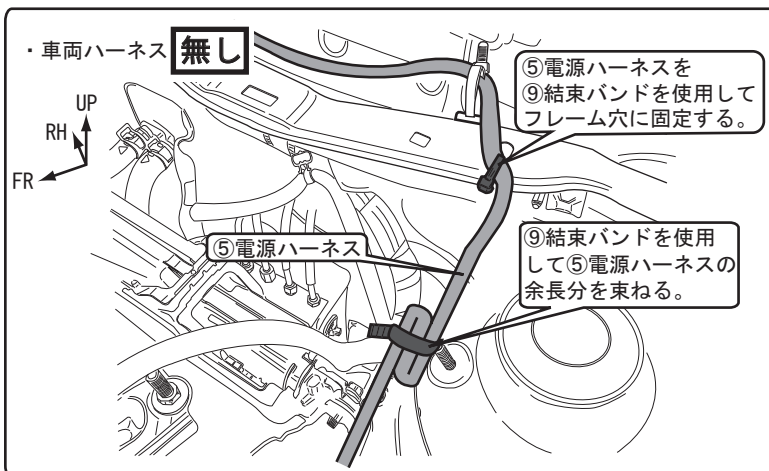
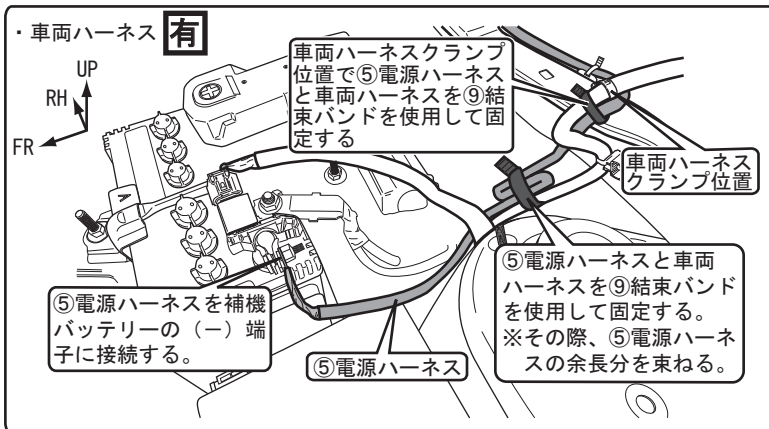
<図 6>



<図 7>

■以降、車両仕様（GAS車/HEV車）により配策仕様が異なります。
GAS車は5頁、項目8～16、HEV車は7頁、項目17～27の要領で配策を行ってください。

■車両仕様（寒冷地仕様車/標準仕様車）により車両ハーネスの有無があります。
 下図を参照の上、配策を行ってください。



<図 8>

3. 車両ワイパーモーターのコネクタを取り外し、⑤電源ハーネスをワイパーモーターへ接続する。（図6参照）
4. ⑤電源ハーネスを、取り外した車両ハーネスと接続する。（図6参照）
5. ⑤電源ハーネスを左図要領で配策する。（図6参照）
6. ⑤電源ハーネスを⑨結束バンドを使用して、ワイパーフレームに2ヶ所仮締めする。（図6参照）

注意

・結束バンドは、コルゲート等の保護材の上から締め付けて下さい。

7. ⑤電源ハーネスから分岐しているハーネス（終端：丸端子）をワイパーモーター固定用フレームの内側を通して配策し、⑨結束バンド、⑩マウントベースを使用して4ヶ所仮締めする。（図6・7参照）

注意

・ワイパーリンク等、可動部とワイヤーハーネスが干渉しないことを確認して下さい。
 ・車両側の⑩マウントベース貼付面は必ず脱脂処理を行って下さい。

GAS車

8. ⑨結束バンドを使用して⑤電源ハーネスを2ヶ所仮締めする。（図8参照）

注意

・車両ハーネス仕様により、配策が変わります。

9. ⑤電源ハーネスを補機バッテリーの（-）端子に接続する。（図8参照）

10. 補機バッテリーの（-）端子を元に戻し、ワイパーモーターの動作確認を行う。（図8参照）

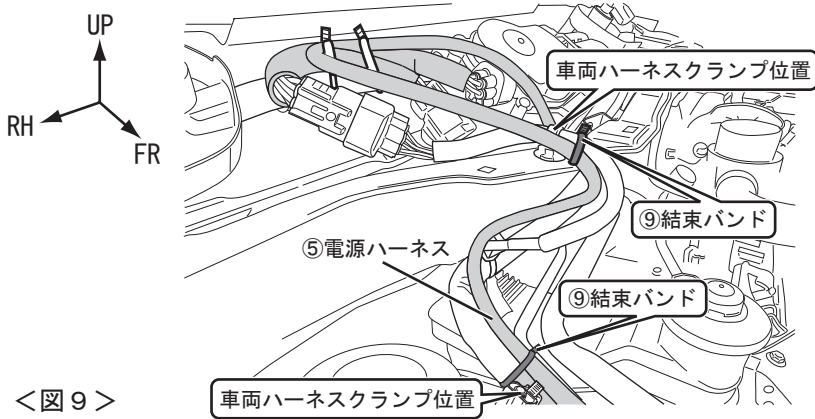
注意

・ワイパーリンク等、可動部とワイヤーハーネスが干渉しないことを確認して下さい。

11. 補機バッテリーの（-）端子を外す。

アドバイス

・（-）端子が（+）端子に接触しない様にして下さい。



12. ⑤電源ハーネスを車両ハーネスクランプ位置で⑨結束バンドを使用して2ヶ所仮締めする。
(図9参照)

13. ⑥ユニットハーネスを⑤電源ハーネスに接続する。
(図10参照)

14. ⑤電源ハーネスを車両ハーネスに⑨結束バンドを使用して3ヶ所仮締めする。
(図10参照)

⚠ 注意

- 結束バンドは、コルゲート等の保護材の上から締め付けて下さい。

15. ⑦接続ハーネスを⑥ユニットハーネスに接続する。
(図11参照)

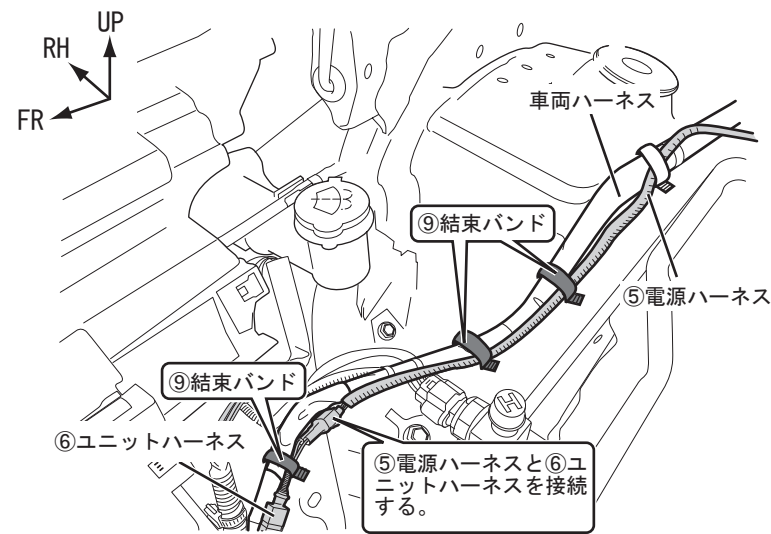
16. ⑥ユニットハーネスと⑦接続ハーネスを車両ハーネスに⑨結束バンドを使用して2ヶ所仮締めする。
(図11参照)

⚠ 注意

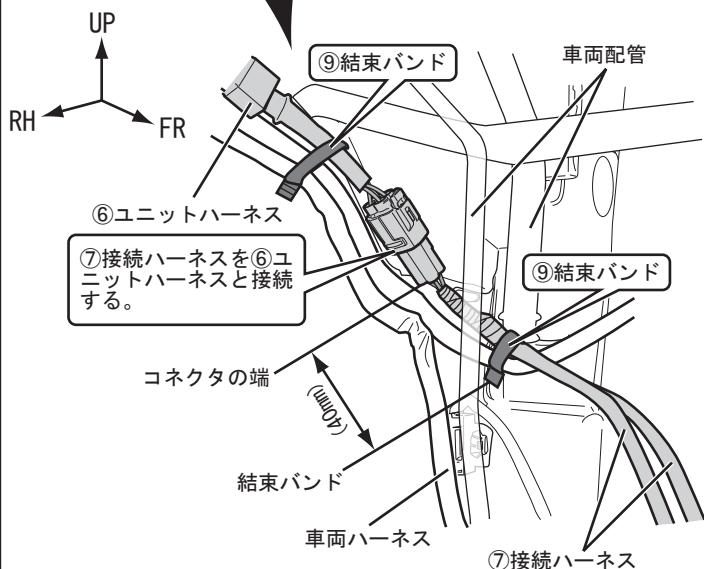
- ハーネスの配策は車両配管へ干渉しない様に注意して作業を行ってください。

⚠ 注意

- 結束バンドは、コルゲート等の保護材の上から締め付けて下さい。



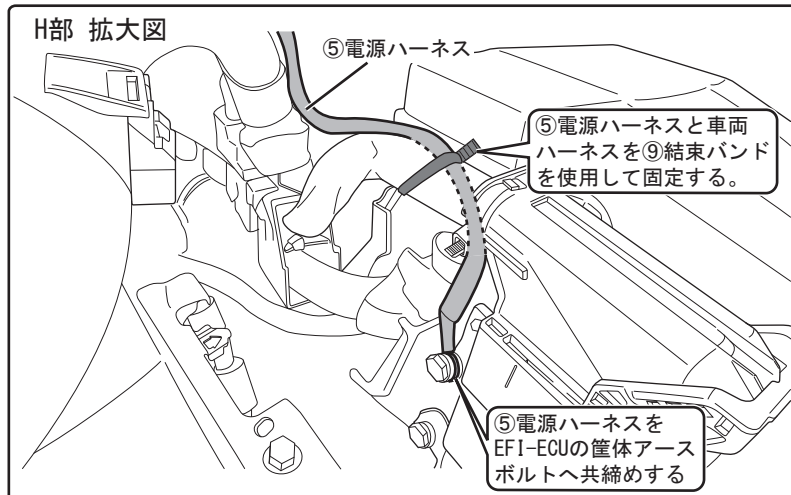
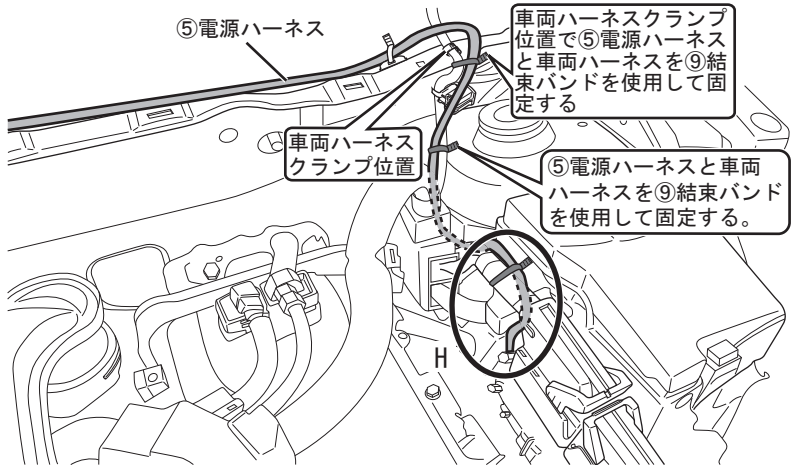
<図10> ※配策の続きは <図11> へ



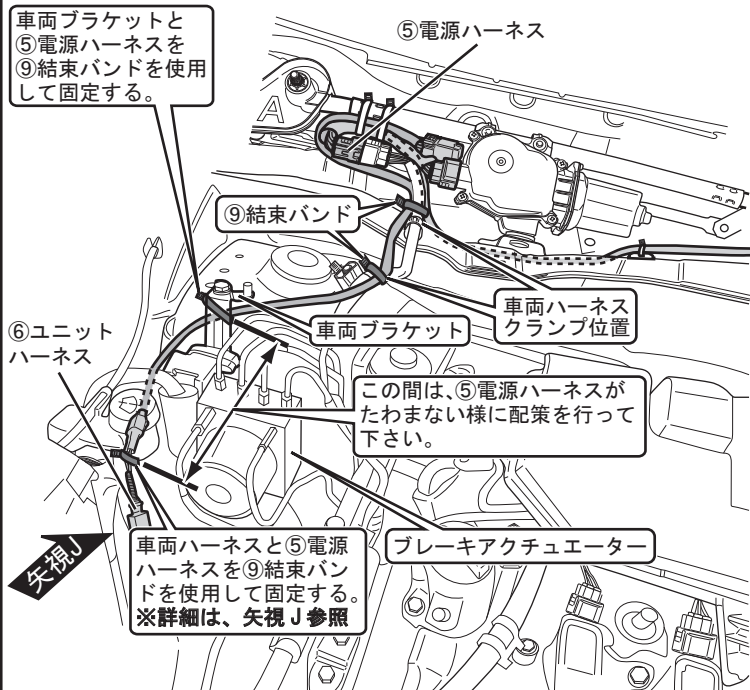
<図11>

8頁 項目28へ

HEV車



<図 1 2>



<図 1 3>

17. 左図要領で⑨結束バンドを使用して⑤電源ハーネスを3ヶ所仮締めする。(図 1 2 参照)
18. ⑤電源ハーネスをEFI-ECUの筐体アースボルトへ共締めする。(図 1 2 H部 拡大図 参照)
※締め付トルク：12.5 N・m
19. 補機バッテリーの(－)端子を元に戻し、ワイパーモーターの動作確認を行う。

⚠ 注意

- ・ワイパーリンク等、可動部とワイヤーハーネスが干渉しないことを確認して下さい。

20. 補機バッテリーの(－)端子を外す。

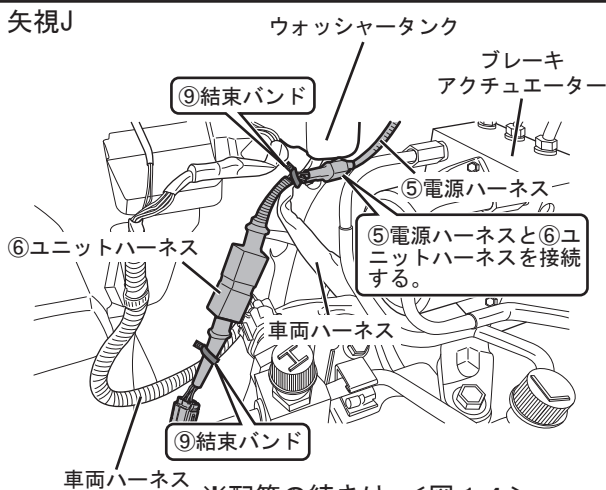
👉 アドバイス

- ・(－)端子が(＋)端子に接触しない様にして下さい。

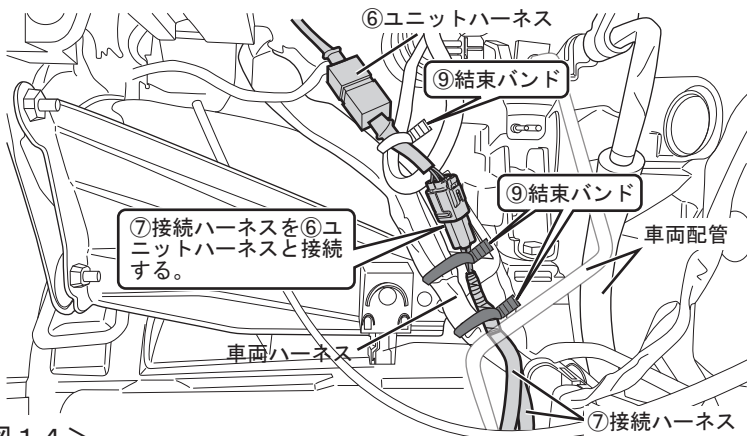
21. ⑤電源ハーネスを左図要領で配策する。(図 1 3 参照)
22. ⑤電源ハーネスを⑨結束バンドを使用して、車両クランプ位置に2ヶ所仮締めする。(図 1 3 参照)
23. ⑤電源ハーネスを車両ブラケット位置で⑨結束バンドを使用して仮締めする。(図 1 3 参照)
24. ⑥ユニットハーネスを⑤電源ハーネスに接続する。(図 1 3 矢視 J 参照)
25. ⑥ユニットハーネスと車両ハーネスを⑨結束バンドを使用して2ヶ所仮締めする。(図 1 3 矢視 J 参照)

⚠ 注意

- ・結束バンドは、コルゲート等の保護材の上から締め付けて下さい。



※配策の続きは <図 1 4> へ



<図 14>

26. ⑦接続ハーネスを⑥ユニットハーネスに接続する。(図 14 参照)

27. ⑦接続ハーネスを車両ハーネスに⑨結束バンドを使用して2カ所仮締めする。(図 14 参照)

⚠ 注意

・ハーネスの配策は車両板金/配管へ干渉しない様に注意して作業を行ってください。

⚠ 注意

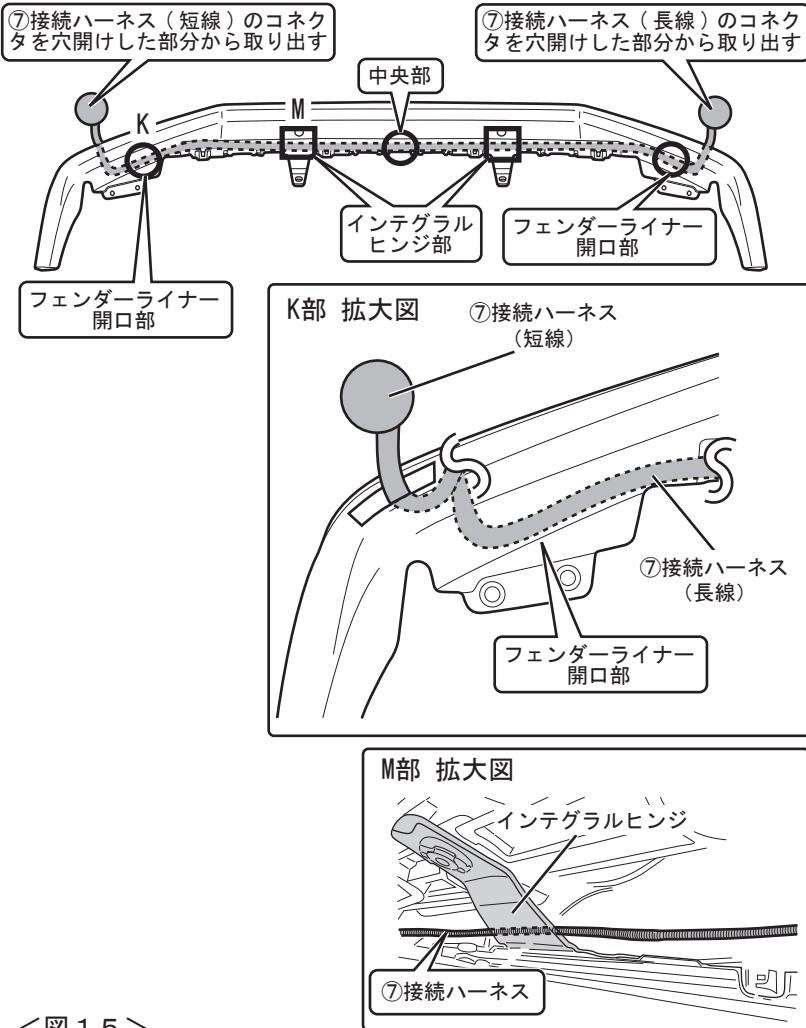
・結束バンドは、コルゲート等の保護材の上から締め付けて下さい。

以降GAS車/HEV車 共通

28. ⑦接続ハーネスから分岐しているハーネス(短線)を、前項. 車両バンパーの加工-1にて穴開けしたRH側から取り出す。(図 15 参照)

29. ⑦接続ハーネスから分岐しているハーネス(長線)を、フェンダーライナー開口部→車両インテグラルヒンジ部→車両中央部→車両インテグラルヒンジ部→フェンダーライナー開口部の順に配策し、前項. 車両バンパーの加工-1にて穴あけしたLH側から取り出す。(図 15 参照)

※⑦接続ハーネスの固定と、余長分ハーネスの処理は①スポイラー取付後に行いますので、現時点ではそのままにしてください。

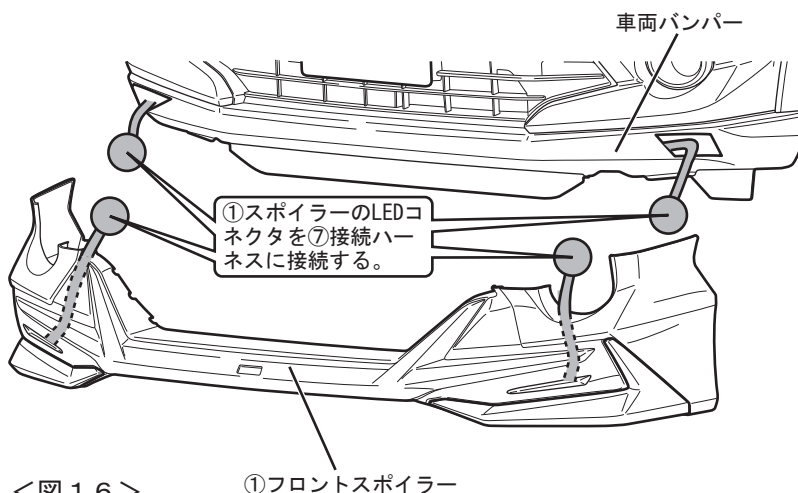


<図 15>

30. 左図の要領で①スポイラーのLEDコネクタと⑦接続ハーネスのコネクタを接続する。(図 16 参照)

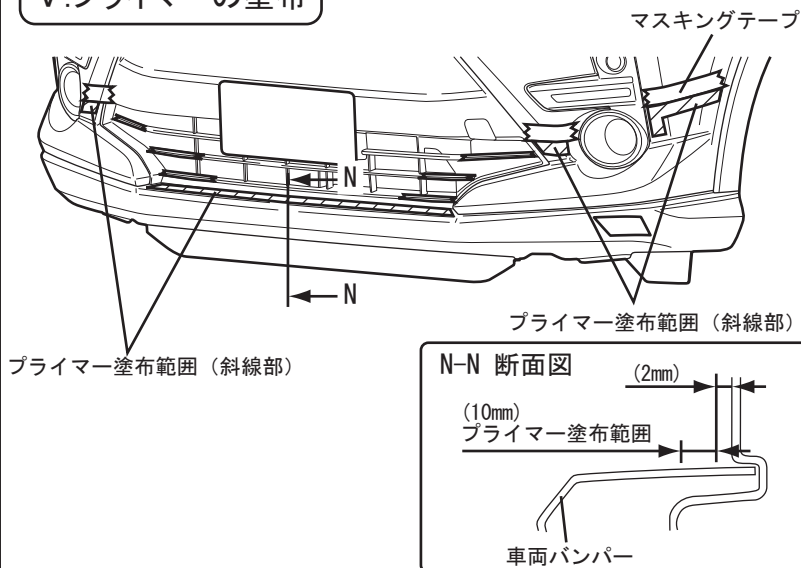
31. 補機バッテリーの(-)端子を接続し、イグニッションに連動して①スポイラーのLEDディスプレイが点灯することを確認する。

32. 補機バッテリーの(-)端子を外し、①スポイラーのLEDコネクタと⑦接続ハーネスのコネクタを外す。



<図 16>

V.プライマーの塗布



<図 17>

1. 両面テープ貼付部 (斜線部) を脱脂し、⑬PACプライマー N200を塗布する。(図 17 参照)



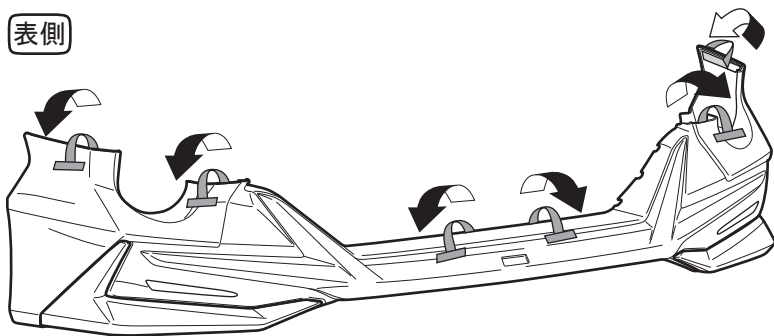
アドバイス

- ・ PACプライマーN200は特に塗装面を黄変させますので、マス킹するか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・ PACプライマーN200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ ボディーコート処理されている車両は、マス킹をして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

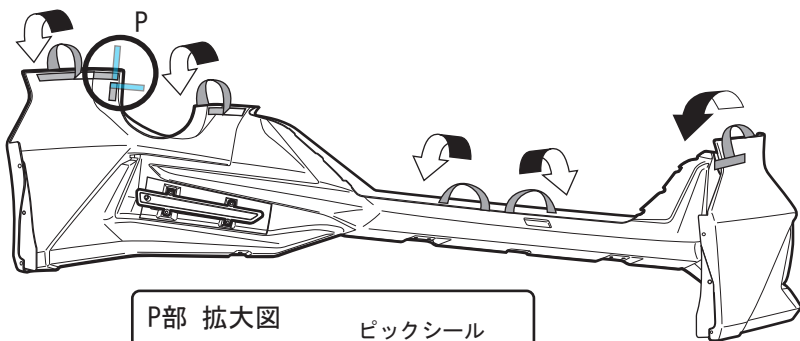
2. プライマー塗布後、マス킹テープを全て剥がす。
※車両リブ形状部のマス킹テープは剥がさないで下さい。

VI.取付準備

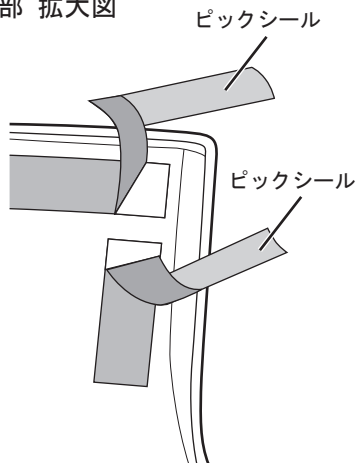
表側



裏側



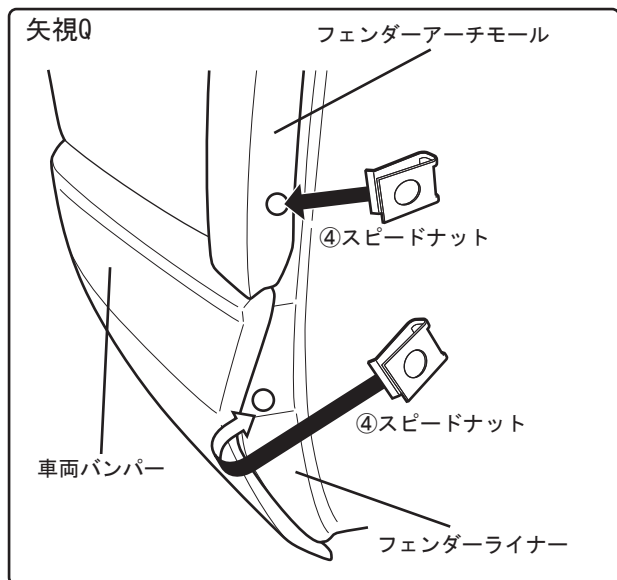
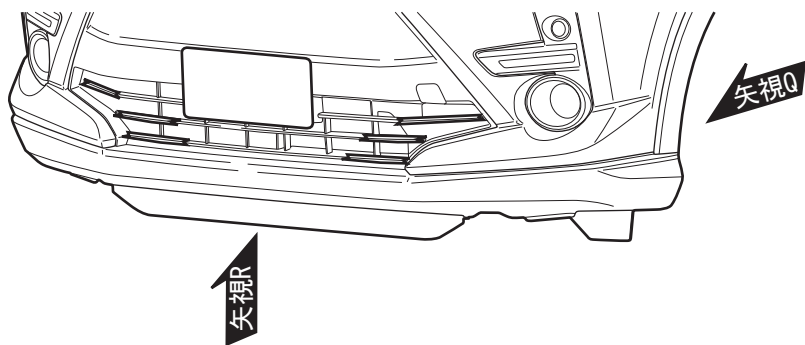
P部 拡大図



ピックアップシール部の両面テープ離形紙は10mm程度剥がす

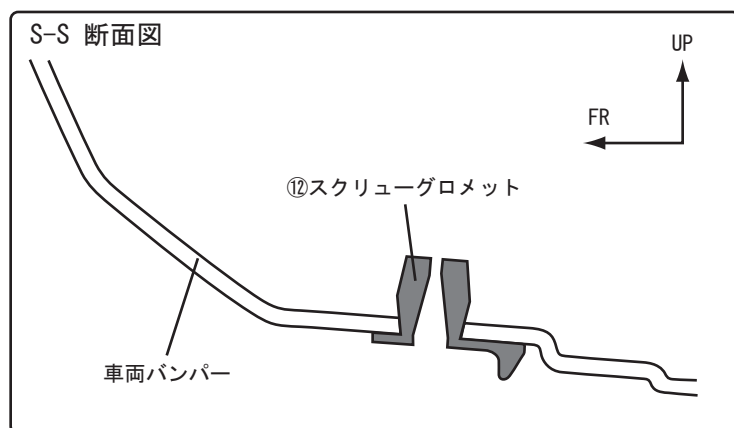
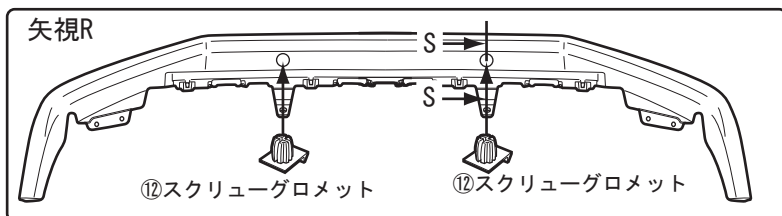
<図 18>

1. ①スポイラーの両面テープ離形紙を少し剥がし、表側へ折り返してマス킹テープで仮固定する。(図 18 参照)



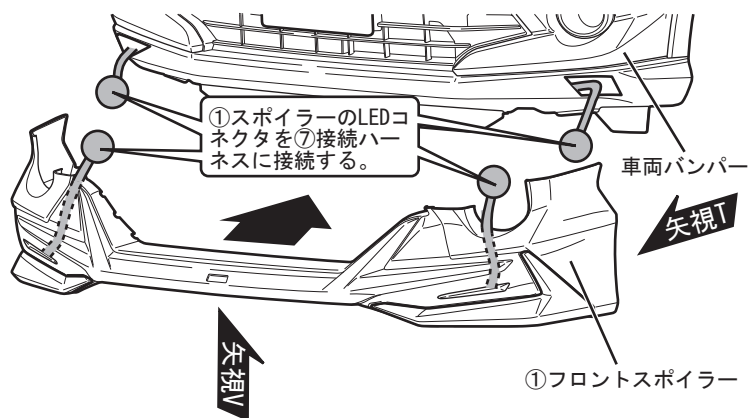
2. 車両フェンダー部の穴開け位置に合わせて、④スピードナットを取り付ける。
(図19 矢視Q 参照)

3. 車両下面の穴開け位置に合わせて、⑫スクリーグロメットを取り付ける。
(図19 矢視R・S-S 断面図 参照)



<図19>

Ⅶ. 取付



- ①スポイラーのLEDコネクタと⑦接続ハーネスのコネクタを接続する。
(図20参照)
※コネクタ接続後、コネクタを車両内側へ確実に入れ込んで下さい。

- ①スポイラーを仮当ての時と同様の手順で車両バンパーへ仮当てする。
(3ページ目 図3参照)



アドバイス

・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーにつかない様に気を付けて作業して下さい。

- 車両フェンダーライナー部へ取り付けられた④スピードナットへ⑪バンポンワッシャーを取り付ける。(図20 矢視T・U-U断面図 参照)
※貼り付けは、④スピードナットの穴位置を狙って貼り付けて下さい。

- フェンダー部を②タッピングスクリュー(M4×16)で仮締めをする。
(図20 矢視T・U-U断面図 参照)

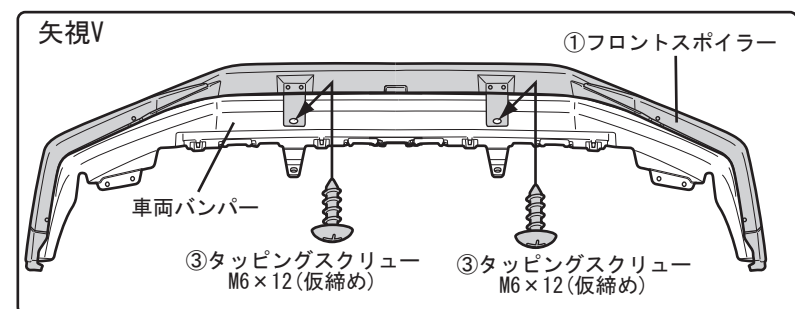
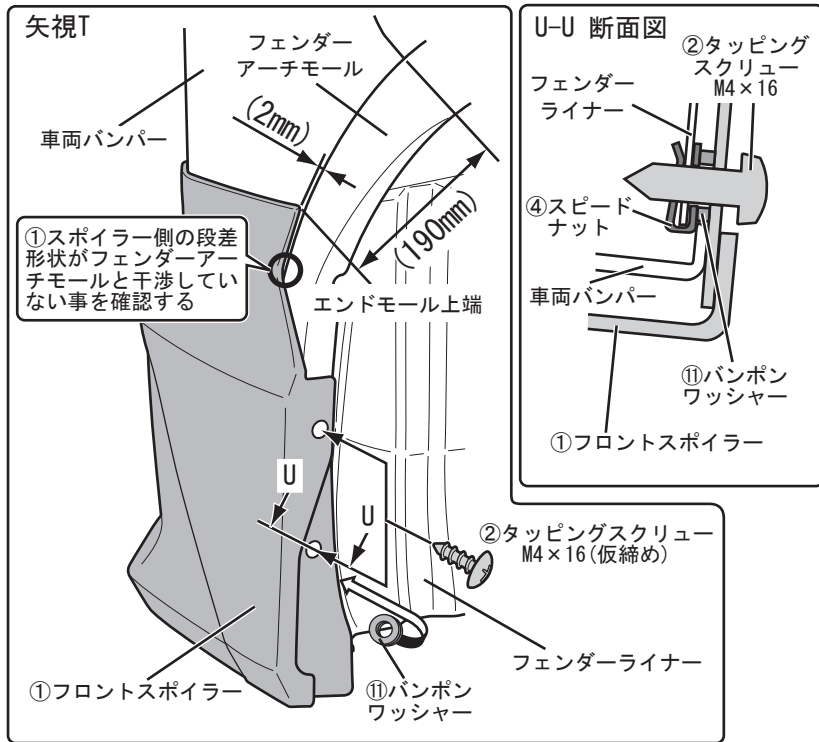
- 下面ブラケット部を③タッピングスクリュー(M6×12)で仮締めをする。
(図20 矢視V 参照)

- 両面テープ離型紙を①～⑤の順に引き抜きながら圧着する。(図21参照)

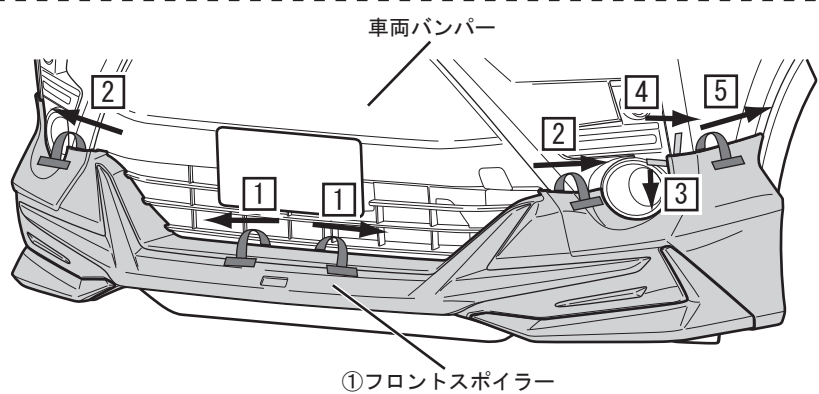


アドバイス

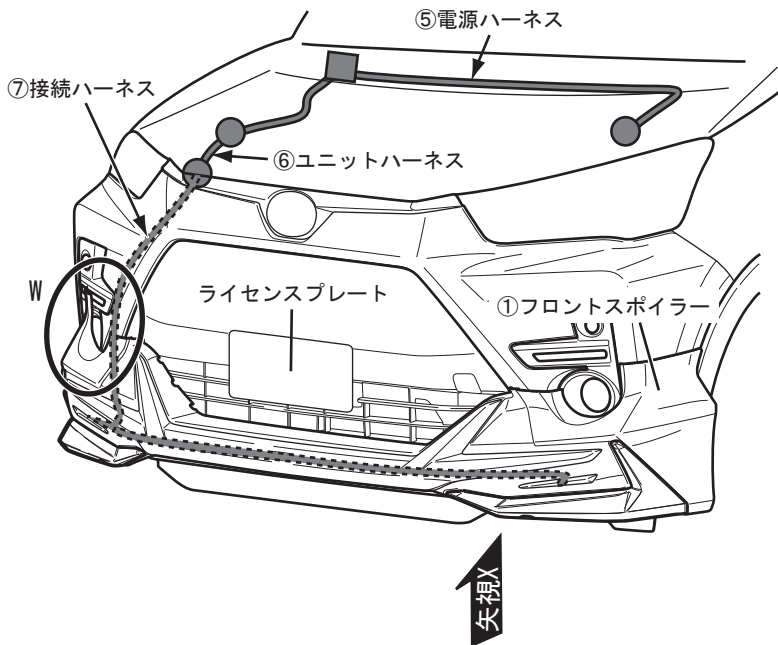
・両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。



<図20>

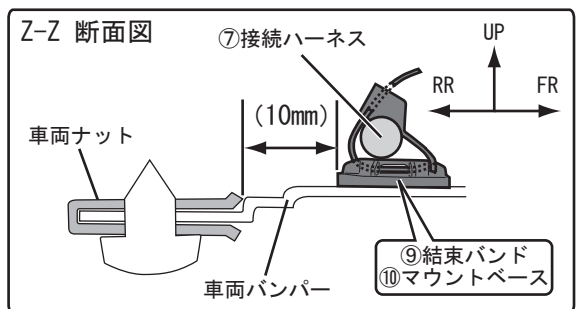
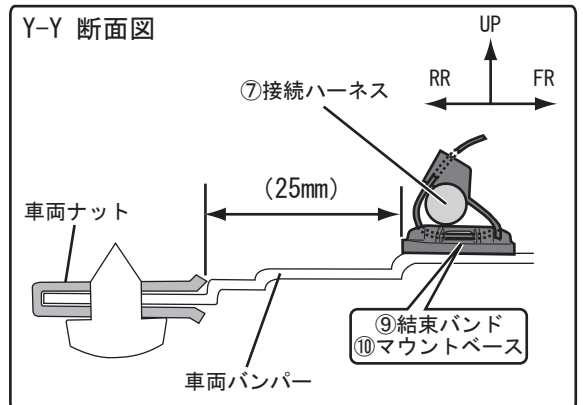
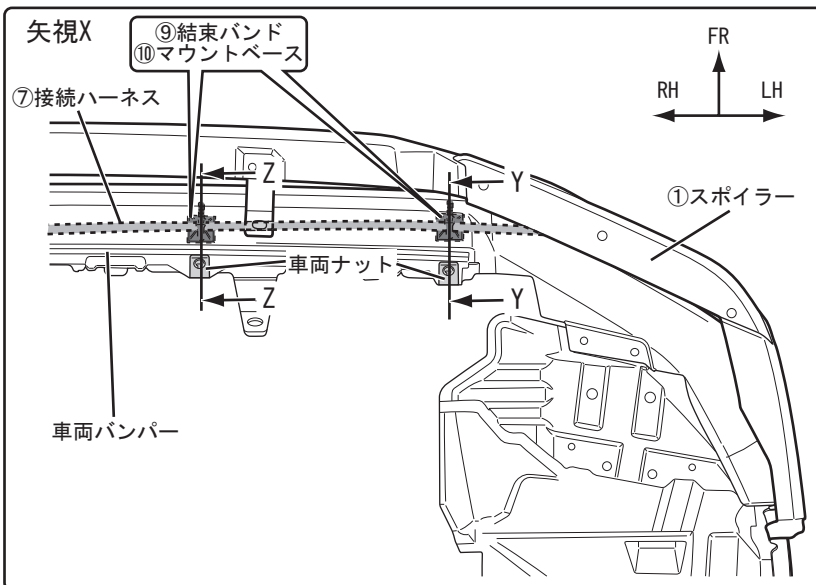
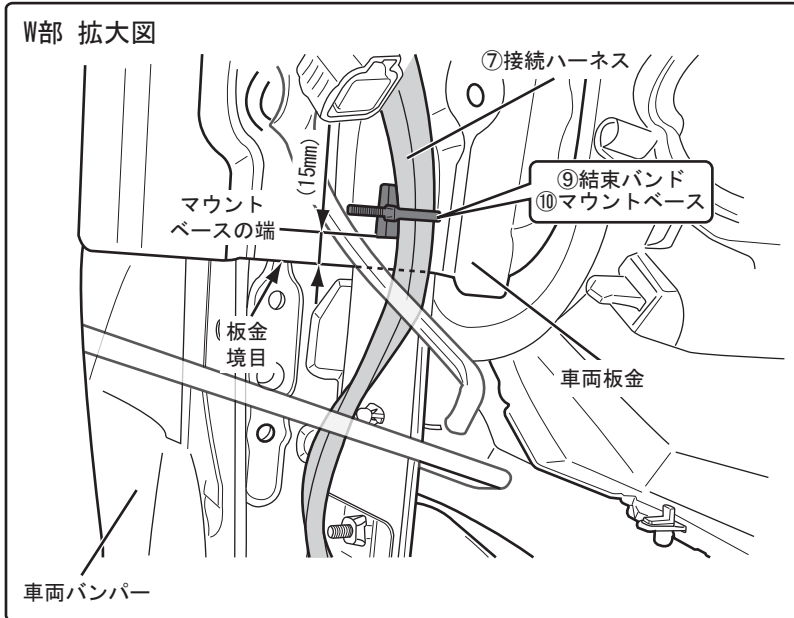


<図21>

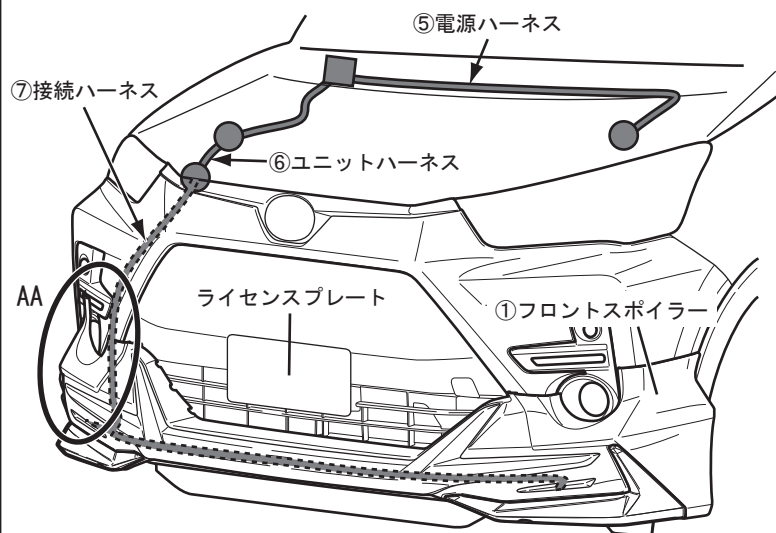


7. ⑦接続ハーネスを⑨結束バンドと⑩マウントベースを使用して車両の板金に仮締めする。
(図 2 2 W部 拡大図 参照)

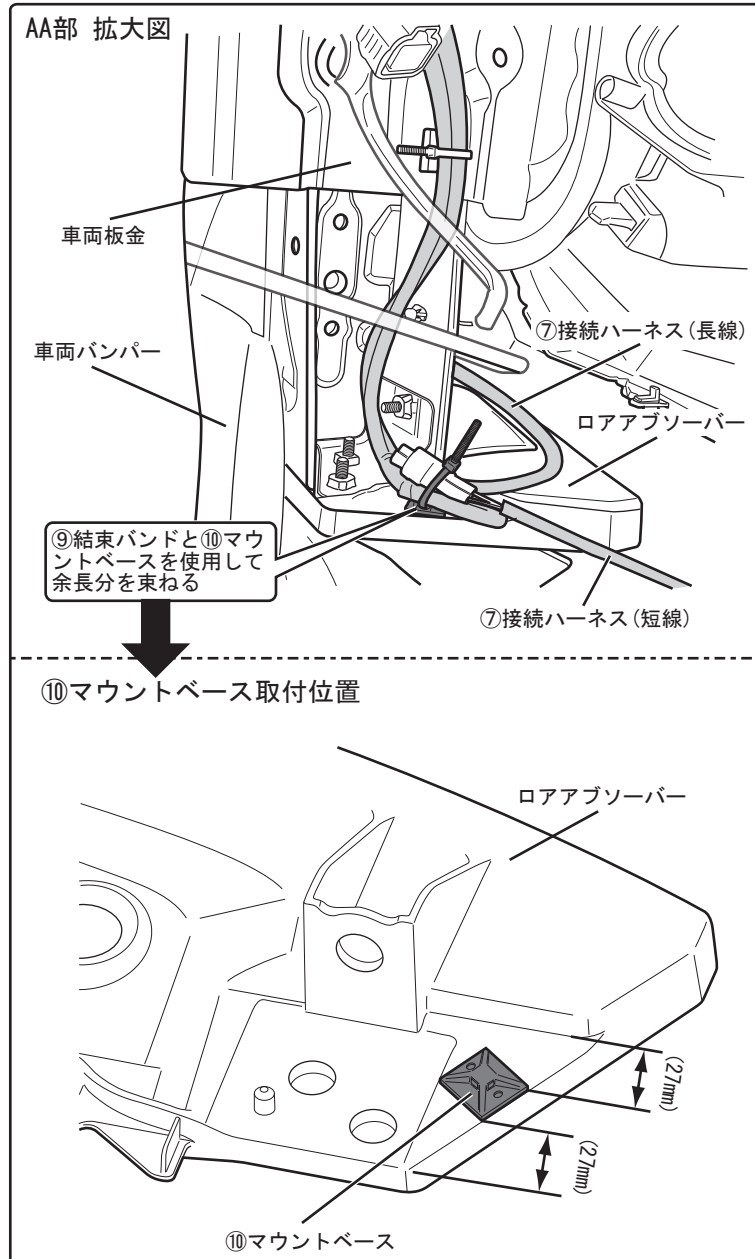
8. ⑦接続ハーネスから分岐しているハーネス(長線)を、LH側から順に車両ナットの延長線上に⑨結束バンド・⑩マウントベースを使用して4ヶ所仮締めする。
※仮締めの際、LH側に⑦接続ハーネスの余長を残さない様に、RH側に⑦接続ハーネスを寄せながら作業を行ってください。
(図 2 2 矢視X・Y-Y・Z-Z 断面図 参照)



<図 2 2 >



AA部 拡大図



9. ⑦接続ハーネスの余長分を⑨結束バンドと⑩マウントベースを使用して車両ロアアブソーバーに取付ける。(図23 AA部 拡大図 参照)

※⑦接続ハーネス(長線)の余長が、LH側に残っていないことを確認してから作業を行って下さい。

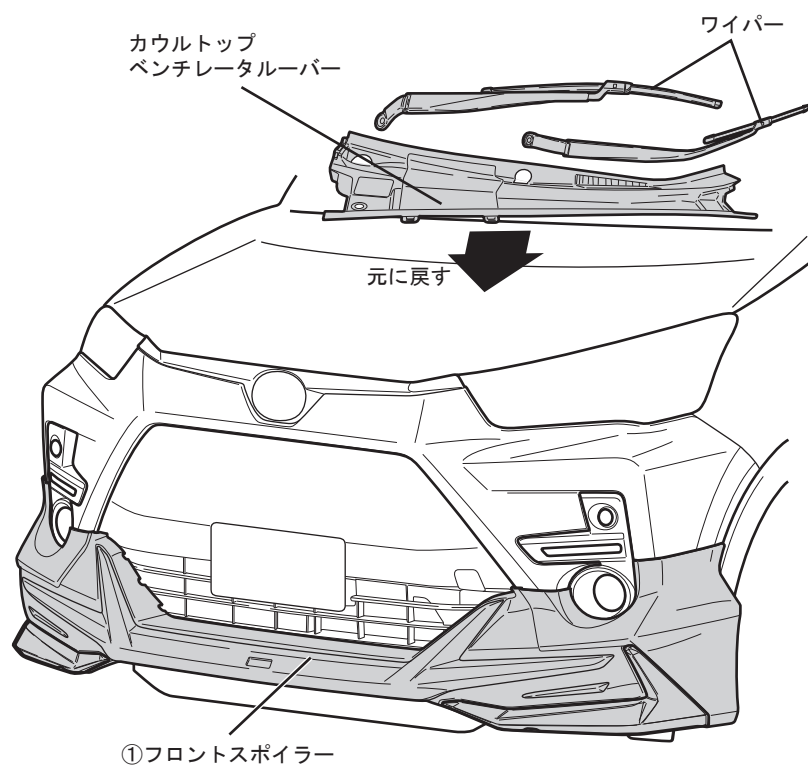
※12ページ 項目8 で寄せたLH側⑦接続ハーネス(長線)の余長を、図23 AA部 拡大図の所で束ねます。

⚠ 注意

- ・結束バンドは、コルゲート等の保護材の上から締め付けて下さい。

10. ハーネス全体の余長を調整し、仮締めしていた全ての⑨結束バンドを本締めする。

11. 車両リップ形状部のマスキングテープを全て剥がす。



12. ワイパー・カウルトップベンチレーターバーを元に戻す。(図24参照)

13. ①スポイラーの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープ貼り付け後、24時間以上放置し再圧着する。

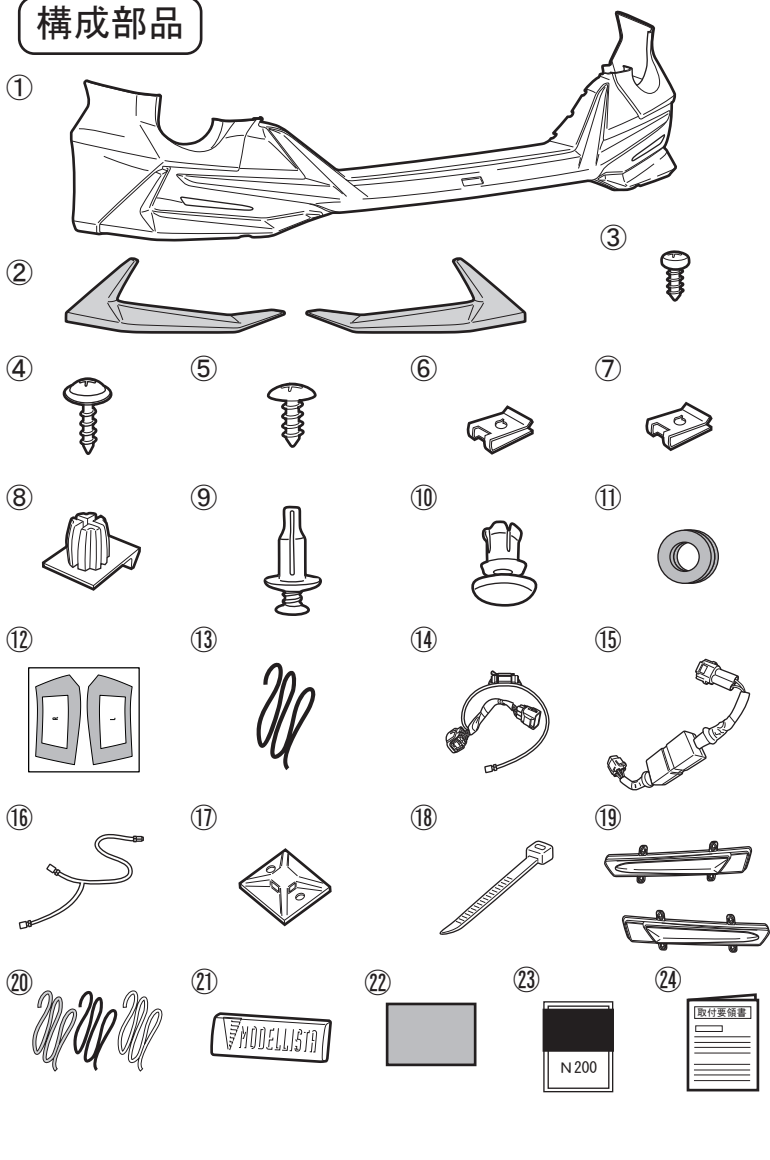
14. 補機バッテリーの(一)端子を接続する。

15. 仮締めしていた②③タッピングスクリューを全て本締めをして取り付け作業終了です。

<図24>

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



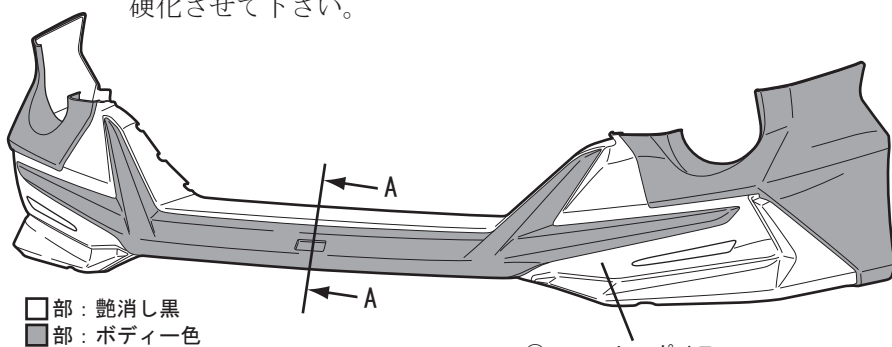
No.	品名	個数
①	フロントスポイラー_本体	1
②	ガーニッシュ_LH/RH	1
③	タッピングスクリュー (M4×10)	4
④	タッピングスクリュー (M4×16)	4
⑤	タッピングスクリュー (M6×12)	2
⑥	スピードナット (4026)	4
⑦	スピードナット (4043)	4
⑧	スクリューグロメット (3340)	2
⑨	スクリベット (21M2)	4
⑩	プッシュリベット (P4060W)	4
⑪	バンポンワッシャー	2
⑫	穴開け用位置出しシール	1シート
⑬	スポンジテープ	2
⑭	電源ハーネス	1
⑮	ユニットハーネス	1
⑯	接続ハーネス	1
⑰	マウントベース	11
⑱	結束バンド	23
⑲	LED灯体_LH/RH	1
⑳	エンドモール	ライトグレー:1 グレー:1 ブラック:1
㉑	エンブレム	1
㉒	プロテクションテープ	2
㉓	PACプライマー N200	1
㉔	取付要領書	1

I. 塗装作業

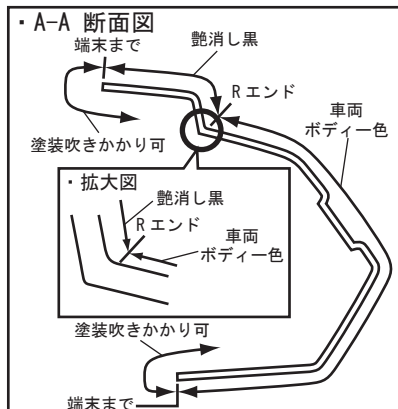
- 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行う。
- 製品に貼り付けてある両面テープ部をマスキングする。
- プライマー塗装を行う。
- 上塗り塗装を行う。
注記：上塗り塗料はウレタン系をご使用ください。
- 硬化
注記：硬化温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で硬化させて下さい。

エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
W25	シャイニングホワイトパール	ライトグレー
X07	ブラックマイカメタリック	ブラック
B82	レーザーブルークリスタルシャイン	ブラック
S28	ブライトシルバーメタリック	ライトグレー
R67	ファイアーオーツレッドメタリック	ブラック
T32	ナチュラルベージュマイカメタリック	グレー
Y15	マスタードイエローマイカメタリック	ライトグレー
B86	ターコイズマイカメタリック	ブラック
S42	スムーズグレーマイカメタリック	グレー



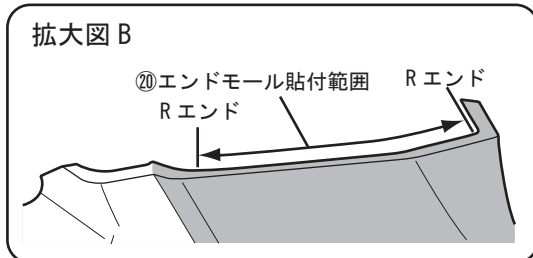
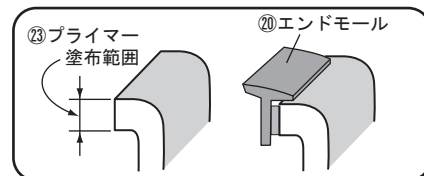
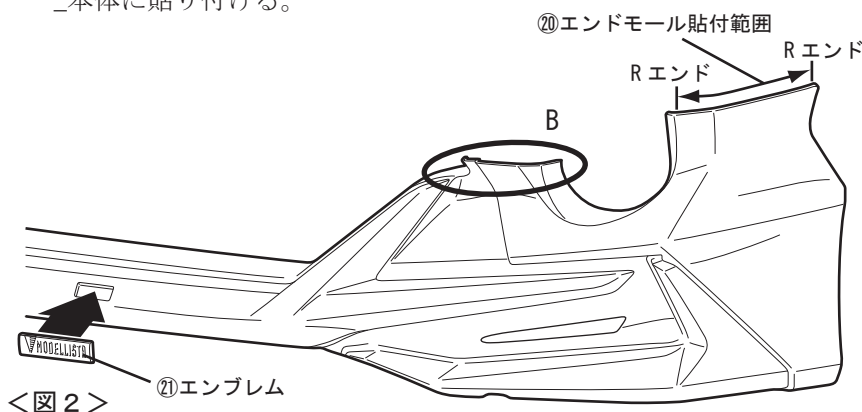
①フロントスポイラー



<図1>

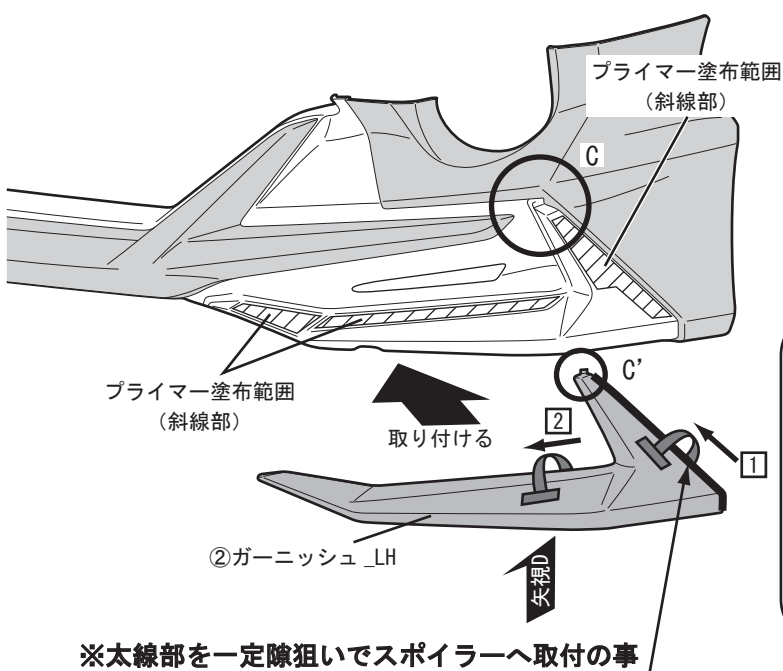
II. プライマーの塗布と⑳エンドモールの貼り付け

- ①フロントスポイラー_本体の⑳エンドモール貼付部分を脱脂し、㉓PACプライマー N200を塗布する。(図2参照)
- 図2の要領で⑳エンドモール・㉑エンブレムを①フロントスポイラー_本体に貼り付ける。

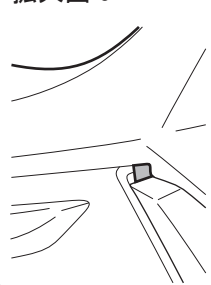


III. ㉒ガーニッシュの取り付け

- 両面テープ貼付面(斜線部)を脱脂し、㉓PACプライマー N200を塗布する。(図3参照)
- ガーニッシュの両面テープ離形紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(ガーニッシュ_取付準備参照)
- ガーニッシュ上端の凸形状をスポイラー_本体の穴へ差し込む。(図3 拡大図C、C'参照)
- ガーニッシュ下面位置決め穴に㉑スクリベットを差し込む。(矢視D参照)
- ガーニッシュの両面テープを①、②の順に引き抜きながら圧着する(図3参照)
※離形紙を全て剥がした箇所の圧着も忘れずに行ってください。
※図はLH側とし、RH側も同様に作業を行ってください。



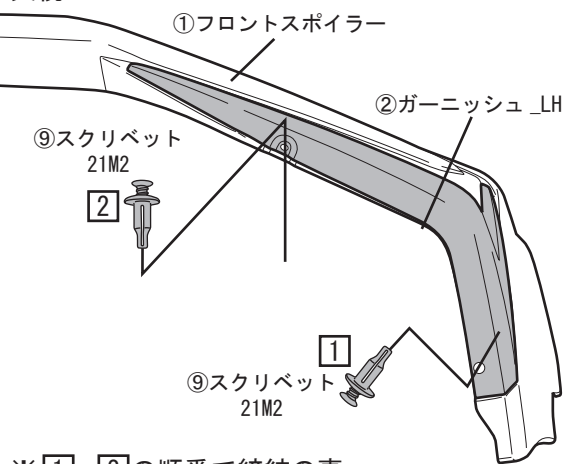
拡大図 C



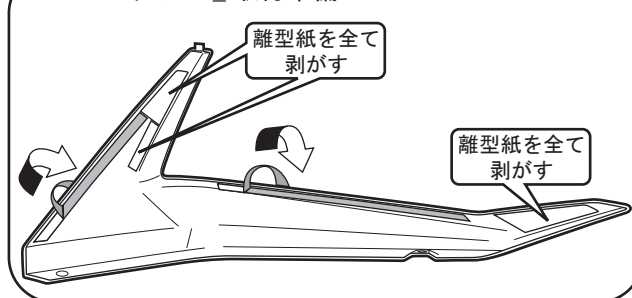
拡大図 C'



矢視 D



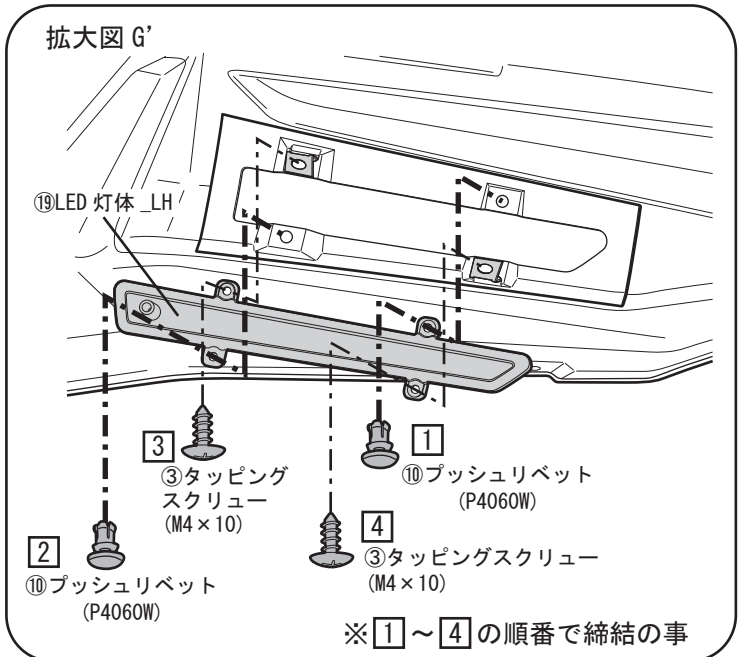
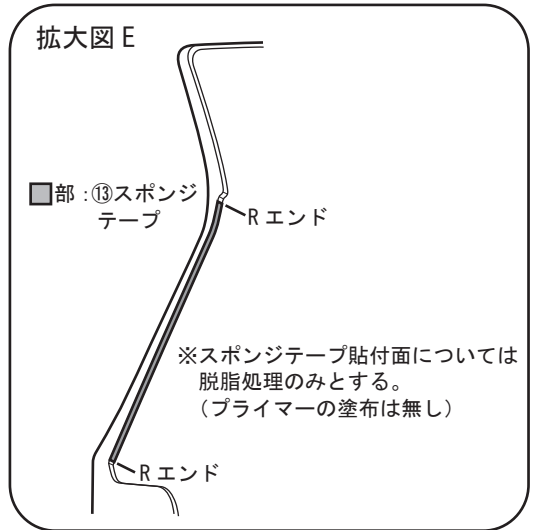
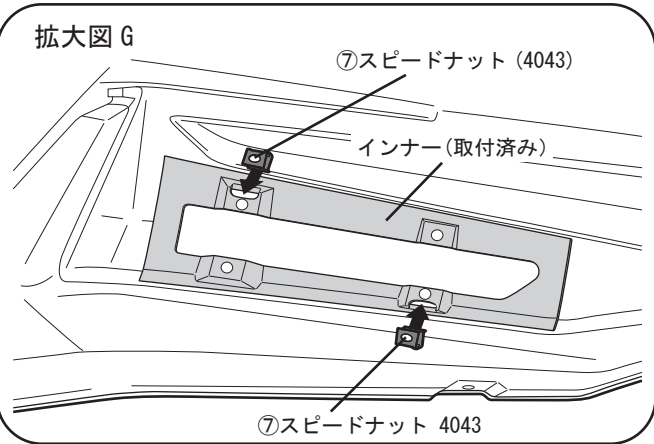
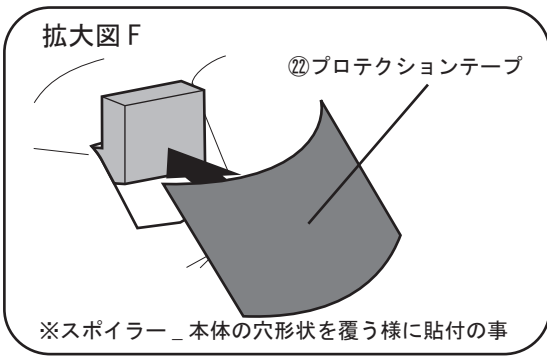
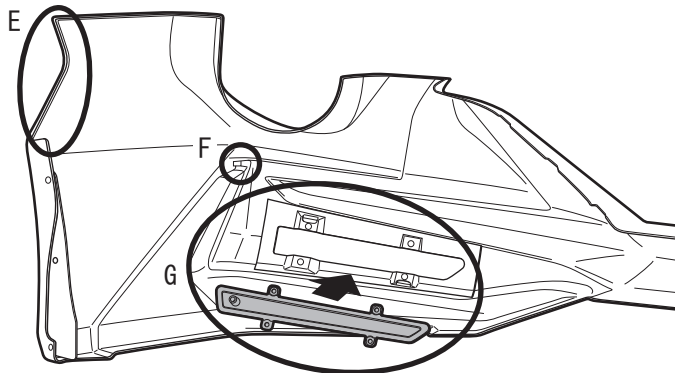
ガーニッシュ_取付準備



<図3>

IV. ⑬スポンジテープ・⑲LED灯体・⑳プロテクションテープの取り付け

- ⑬スポンジテープを①フロントスポイラーに貼り付ける。(図4 拡大図E 参照)
- ⑳プロテクションテープを①フロントスポイラーへ貼り付ける。(図4 拡大図F 参照)
- ⑦スピードナット (4043) をインナーへ取り付け。(図4 拡大図G 参照)
- ⑲LED 灯体を③タッピングスクリュー (M4×10) ・⑩プッシュリベット (4060W) を使用して、インナーへ取り付け。(図4 拡大図G' 参照)



<図4>

※補修キット両面テープ貼り位置

- 補修キットを使用して、①スポイラーの再取付を行う際は、下図を参照に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。

